

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/図/表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
渡邊	111-112	3.3		ed	「いかなる連続した $N$ 個の LDC ブロック当たりの平均エラー率として測定する。」は「いかなる」は「平均」を計算するときの話と思われるので、最大 RSER の説明では不要ではないか。	例えば「連続した $N$ 個の LDC ブロック当たりの平均エラー率として測定する。」とするのはどうか。	この「いかなる(any)」は、ディスク盤面上に $N$ 個の連続した LDC ブロックがたくさんあって、そのどれに対しても平均して測定する、という意味ですが、ご指摘のように「いかなる」を削除いたします。
伊藤	130-132	3.8	定義	ed	「長距離符号」は、文書の他の部分で現れない。	箇条 3.8 を削除し、後続の箇条の番号を繰り上げる。	3.3 の注釈 2 に「LDC」ブロックとして記述がありますが、「…長距離符号 (LDC) ブロック…」に変更します。
伊藤	130-132	3.8	定義	te	(上記コメントで 3.8 を削除しない場合) 現在の「長距離符号」の定義「BD で採用されている誤り訂正符号」には普遍性がなく、例えば BD で採用する符号を変えたときに、この定義では長距離符号の定義にならなくなる。  規格の用語定義は他の規格から引用されることもあるし、この「規格の中では問題ない」という説明は、素直には納得できません。  現在の定義は、定義本体ではなく Note に書くべき内容ではないでしょうか。	普遍的かつ主体的な定義に修正する。	以下の修正では如何でしょうか。  <b>3.8</b> <b>長距離符号, LDC (long distance code)</b>  符号長を長くし、検査シンボルを多く割り当てることによって訂正能力を高めた符号  <b>注釈 1</b> BD の訂正符号に採用されている。  <b>注釈 2</b> JIS X 6230 及び JIS X 6231 参照。
伊藤	157-159	3.16	定義	ed	「基板」は、文書の他の部分で現れない。	箇条 3.16 を削除し、後続の箇条の番号を繰り上げる。	図 C.4 に記述されています。

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

\*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。